



化石発見75周年・生存発見70周年記念

大阪市博物館協会・大阪市立大学包括連携協定企画 生きている化石「メタセコイア」

公立大学法人大阪市立大学と公益財団法人大阪市博物館協会は、メタセコイアの化石発見75周年および生存発見70周年を記念して、2016年10月から11月にかけて、講演会（大阪市立大学文化交流センター、大阪駅前第2ビル）、化石展示会とオープンセミナー（大阪市立自然史博物館）、現地化石見学会（滋賀県湖南市）、植物観察会（大阪市立大学理学部附属植物園）を開催します。



メタセコイア



メタセコイアの化石

メタセコイアは、理学部附属植物園の園長も務めた三木 茂 博士（元 大阪市立大学教授）が1941年に化石として発見した植物です。その後、中国で生きているメタセコイアが見つかり、1946年に「メタセコイアが生きていた」と発表されて世界の人々を驚かせました。1950年に、アメリカの研究者から100本の苗木が大阪市立大学に事務局があったメタセコイア保存会に贈られ、全国の大学や自治体に配布されました。その一本は理学部附属植物園に植えられ、今も元気に育っています。保存会はその後も挿し木で苗木を増やして全国に頒布し、メタセコイアを広めました。全国の公園や学校で見られる多くのメタセコイアは、保存会によって頒布されたものです。1949年に最初に日本に贈られたメタセコイア苗木は皇居に植えられ、昭和天皇がことのほか好まれた木としても知られています。メタセコイアは戦後の日本に明るい話題を提供し、その普及は戦後日本の復興の歴史と重なります。

2016年は、メタセコイア化石発見から75周年、現生種の生存発見から70周年にあたります。本企画では、この節目に、メタセコイア発見の歴史、日本各地への現生種の普及、化石と現生種の特徴、メタセコイアが果たした文化的役割などについて共に学びます。多くの市民の方々の参加をお待ちしています。

【開催概要】

10月22日（土） 記念講演会（大阪市立大学 文化交流センター）

10月29日（土）～11月20日（日）

特別陳列「三木茂博士が研究したメタセコイアの化石」（大阪市立自然史博物館）

11月5日（土） オープンセミナー（大阪市立自然史博物館）

11月13日（日） 現地化石見学会（滋賀県湖南市）

11月27日（日） 植物園観察会（大阪市立大学 理学部附属植物園）

主催：公益財団法人大阪市博物館協会・公立大学法人大阪市立大学

各イベントの詳細は以下の通りです。

◆記念講演会

メタセコイア発見の経緯、日本への普及、都市景観を作っているメタセコイアについて紹介します。

【日時】 2016年10月22日(土) 13:00 - 16:30

【会場】 大阪市立大学文化交流センター

(大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

【演題】

1. 「メタセコイアと大阪」
飯野 盛利 (大阪市立大学理学部附属植物園 園長)
2. 「三木茂博士によるメタセコイアの発見」
南木 睦彦 (流通科学大学 教授)
3. 「生きているメタセコイアの発見と普及」
塚腰 実 (大阪市立自然史博物館 主任学芸員)
4. 「メタセコイアと文化創造：占領軍からの贈り物」
岡野 浩 (大阪市立大学都市研究プラザ 教授)

【定員】 100名

【申込】 下記の方法で、10月6日(木)締切。参加費は無料。

◆自然史博物館 特別陳列「三木茂博士が研究したメタセコイアの化石」

メタセコイア発見の元になった標本、メタセコイア発見の歴史を展示します。

【期間】 2016年10月29日(土)～11月20日(日)

【会場】 大阪市立自然史博物館 本館 2階イベントスペース

(大阪市東住吉区长居公園 1-23)

【申込】 不要。ただし、自然史博物館本館入館料が必要(大人300円、高大生200円、中学生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住65歳以上の方(要証明)は無料)。

◆自然史博物館 オープンセミナー

三木博士は、どんな特徴に注目して、世界の研究者が発見できなかったメタセコイアを発見したのかを解説します。

【日時】 2016年11月5日(土) 13:30 - 15:00

【会場】 大阪市立自然史博物館 講堂

(大阪市東住吉区长居公園 1-23)

【演題】 「三木茂博士によるメタセコイア化石の発見」

塚腰 実 (大阪市立自然史博物館 主任学芸員)

※講演終了後、特別陳列の展示会場でも解説を行います。

【定員】 200名(当日先着順)

【申込】 不要。参加費は無料。ただし、自然史博物館本館入館料が必要。

◆現地化石見学会

野洲川流域の270万年前の地層の中にある、メタセコイアの化石を観察します。足場の悪い河原を含む5kmを歩く健脚向きの行事です。

【日時】 2016年11月13日(日) 10:00 - 15:00

(雨天および前日までの雨で川が増水した場合は中止)

【行先】 滋賀県湖南市（集合：JR 草津線三雲駅）

【定員】 25 名

【対象】 小学4年生以上（ただし小学生は保護者同伴）

【申込】 下記の方法で、10月27日（木）締切。参加費は無料。ただし、保険料として大人100円、小学生50円が必要。

※交通費は各自負担

※当選者に、持ち物など詳しい案内をお送りします。

◆植物園観察会

メタセコイアは、100万年前まで大阪平野に生育していました。大阪にメタセコイアが生育していた時代の植物を集めた太古の森を観察します。また、1950年にアメリカからメタセコイア保存会へ贈られたメタセコイアの苗木の成長した姿も見てください。

【日時】 2016年11月27日（日）13:30 - 15:00（小雨決行）

【会場】 大阪市立大学理学部附属植物園（大阪府交野市私市2000）

【定員】 40名

【申込】 下記の方法で、11月10日（木）締切。参加費は無料。ただし、植物園入園料が必要（大人350円、中学生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住65歳以上の方（要証明）は無料）

【申込方法】

記念講演会、現地化石見学会、植物園観察会には申込みが必要です。往復はがき、電子メール、FAXのいずれかで、行事名、参加希望者全員の氏名、年齢（学年）、住所、電話番号、および返信先（宛名またはFAX番号）をご記入の上、必ず1行事1通ずつで大阪市立大学植物園「生きている化石メタセコイア」係までお申し込みください。抽選の結果は、締切日より1週間以内に、お申し込み頂いた方法でご連絡いたします。

[申込先]

〒576-0004 大阪府交野市私市2000 大阪市立大学 植物園

FAX：072-891-2101 電子メール：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

※申込み時にご記入いただきました個人情報には当講座に関するご連絡及び受講状況の分析のみに利用し、第三者に提供・開示することはありません。

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 理学部附属植物園 担当：厚井・植松

TEL：072-891-2681

公益財団法人大阪市博物館協会・公立大学法人大阪市立大学包括連携協定企画

生きている化石「メタセコイア」

—化石発見75周年・生存発見70周年記念—



化石標本（三木コレクション）



メタセコイア命名者の三木茂博士



中国で最初に発見された生存木（撮影：斎藤清明氏）



大阪市立大学理学部附属植物園のメタセコイア



球果（化石）



球果（現生）

2016年10月22日（土）

11月5日（土）

11月13日（日）

11月27日（日）

10月29日（土）

～11月20日（日）

記念講演会（大阪市立大学 文化交流センター）

オープンセミナー（大阪市立自然史博物館）

現地化石見学会（滋賀県湖南市）

観察会（大阪市立大学理学部附属植物園）

特別陳列「三木茂博士が研究したメタセコイアの化石」

（大阪市立自然史博物館）

主催：公益財団法人大阪市博物館協会・公立大学法人大阪市立大学



生きている化石「メタセコイア」

—化石発見 75 周年・生存発見 70 周年記念—

公園や学校に植えられているメタセコイアは、三木 茂 博士（元 大阪市立大学教授）が 1941 年に化石として発見した植物です。その後、中国で生きているメタセコイアが見つかり、1946 年に「メタセコイアが生きていた」と発表されて世界の人々を驚かせました。1950 年に、アメリカの研究者から 100 本の苗木が大阪市立大学に事務局があったメタセコイア保存会に贈られ、全国の大学や自治体に配布されました。保存会はその後も挿し木で苗木を増やして全国に頒布し、メタセコイアを広めました。

2016 年は、メタセコイア化石発見から 75 周年、現生種の生存発見から 70 周年にあたります。この節目に、メタセコイア発見の歴史、日本各地への現生種の普及、化石と現生種の特徴、メタセコイアが果たした文化的役割などを学び体験する記念行事を企画しました。多くの市民の方々の参加をお待ちしています。

記念講演会

メタセコイア発見の経緯、日本への普及、都市景観を作っているメタセコイアについて紹介します。

【日時】 2016 年 10 月 22 日（土）13:00 - 16:30

【会場】 大阪市立大学文化交流センター
（大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階）

【演題】

1. 「メタセコイアと大阪」
飯野盛利（大阪市立大学理学部附属植物園 園長）
2. 「三木茂博士によるメタセコイアの発見」
南木睦彦（流通科学大学 教授）
3. 「生きているメタセコイアの発見と普及」
塚腰 実（大阪市立自然史博物館 主任学芸員）
4. 「メタセコイアと文化創造：占領軍からの贈り物」
岡野 浩（大阪市立大学都市研究プラザ 教授）

【定員】 100 名

【申込】 下記の方法で、10 月 6 日（木）締切。参加費は無料。

現地化石見学会

野洲川流域の 270 万年前の地層の中にある、メタセコイアの化石を観察します。足場の悪い河原を含む 5 km を歩く健脚向きの行事です。

【日時】 2016 年 11 月 13 日（日）10:00 - 15:00
（雨天および前日までの雨で川が増水した場合は中止）

【行先】 滋賀県湖南市（集合：JR 草津線 三雲駅）

【定員】 25 名

【対象】 小学 4 年生以上（ただし小学生は保護者同伴）

【申込】 下記の方法で、10 月 27 日（木）締切。参加費は無料。ただし、保険料として大人 100 円、小学生 50 円が必要。
※交通費は各自負担
※当選者に、持ち物など詳しい案内をお送りします。

自然史博物館 特別陳列・オープンセミナー

特別陳列「三木茂博士が研究したメタセコイアの化石」

メタセコイア発見の元になった標本、メタセコイア発見の歴史を展示します。

【期間】 2016 年 10 月 29 日（土）～ 11 月 20 日（日）

【会場】 大阪市立自然史博物館 本館 2 階イベントスペース

【申込】 不要。ただし、自然史博物館本館入館料が必要（大人 300 円、高大生 200 円、中学生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住 65 歳以上の方（要証明）は無料）。

オープンセミナー

三木博士は、どんな特徴に注目して、世界の研究者が発見できなかったメタセコイアを発見したのかを解説します。

【日時】 2016 年 11 月 5 日（土）13:30 - 15:00

【会場】 大阪市立自然史博物館 講堂

【演題】 「三木茂博士によるメタセコイア化石の発見」
塚腰 実（大阪市立自然史博物館 主任学芸員）

※講演終了後、特別陳列の展示会場でも解説を行います。

【申込】 不要。定員 200 名（当日先着順）。参加費は無料。ただし、自然史博物館本館入館料が必要。

植物園観察会

メタセコイアは、100 万年前まで大阪平野に生育していました。大阪にメタセコイアが生育していた時代の植物を集めた太古の森を観察します。また、1950 年にアメリカからメタセコイア保存会へ贈られたメタセコイアの苗木の成長した姿も見てみましょう。

【日時】 2016 年 11 月 27 日（日）13:30 - 15:00（小雨決行）

【会場】 大阪市立大学理学部附属植物園（大阪府交野市私市 2000）

【定員】 40 名

【申込】 下記の方法で、11 月 10 日（木）締切。参加費は無料。ただし、植物園入園料が必要（大人 350 円、中学生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住 65 歳以上の方（要証明）は無料）

申込方法

記念講演会、現地化石見学会、植物園観察会には申込みが必要です。往復はがき、電子メール、FAX のいずれかで、行事名、参加希望者全員の氏名、年齢（学年）、住所、電話番号、および返信先（宛名または FAX 番号）をご記入の上、必ず 1 行事 1 通ずつで大阪市立大学理学部附属植物園「生きている化石メタセコイア」係までお申し込みください。抽選の結果は、締切日より 1 週間以内に、お申し込み頂いた方法でご連絡いたします。

【申込み先】 〒576-0004 大阪府交野市私市 2000 大阪市立大学理学部附属植物園

FAX：072-891-2101 電子メール：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

※申込み時にご記入いただきました個人情報当講座に関するご連絡及び受講状況の分析のみに利用し、第三者に提供・開示することはありません。

【問合せ】 大阪市立大学理学部附属植物園（072-891-2681；厚井・植松）・大阪市立自然史博物館（06-6697-6221；塚腰）